

第23回

*The 23rd Meeting of
Japanese Association of Cardiovascular Pharmacology*

日本循環薬理学会

口 演 要 旨 集

次世代の薬物治療戦略を求めて

会 期

2013年 12月 6日 金

会 場

福岡大学メディカルホール

〒814-0180 福岡市城南区七隈7-45-1

当番幹事

井上 隆司 福岡大学 医学部 生理学

● 協賛：公益社団法人 日本薬理学会

● 後援：福岡市、福岡市医師会

第23回 日本循環薬理学会事務局

福岡大学医学部生理学教室

〒814-0180 福岡市城南区七隈7-45-1

TEL: 092-801-1011(内線3225)

FAX: 092-865-6032

E-mail: njy2013-office@umin.org

組織委員：

岩本 隆宏（福岡大学医学部薬理学・教授）

上原 明（福岡大学医学部生理学・准教授）

市川 純（福岡大学医学部生理学・講師）

内田 俊毅（福岡大学医学部生理学・講師）

喜多紗斗美（福岡大学医学部薬理学・講師）

倉原 琳（福岡大学医学部生理学・講師）

本田 啓（福岡大学医学部生理学・講師）

Hu Yaopeng（福岡大学医学部生理学・助教）

第23回日本循環薬理学会 開催にあたって

第23回日本循環薬理学会

当番幹事 井上 隆司

福岡大学医学部 生理学

本日12月6日(金)に、福岡大学メディカルホールを会場として、第23回日本循環薬理学会を開催することとなりました。この学術集会をお世話するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

日本循環薬理学会は、1991年に発足した循環薬理研究会を前身とし、1999年に創設されました。本学会は、循環器系に関連した領域で活躍中の基礎薬理学研究者を中心にした集まりで、最新の情報を交換して種々の循環器病に対する薬物作用機序の理解や新しい機序に基づいた創薬の推進を目的として活動してまいりました。

ポストゲノムの時代にあって、循環器病の薬物治療に対する考え方は急速に変わりつつあります。そこで今年の学術集会のテーマは、「次世代の薬物治療戦略を求めて」といたしました。プログラムの内容は、一般口演のほか、特別講演に九州大学大学院医学研究院臨床薬理学教授の笹栗俊之先生をお招きして、「GSK-3と創薬：がん、心不全、骨疾患の新規治療法を探る」と題し、これからの基礎薬理学研究と臨床医学の橋渡しへの展望についてお話頂くことといたしました。また、岡崎統合バイオサイエンスセンター教授の西田宏宏先生に「次世代心不全治療の新機軸」と題したシンポジウムをご企画頂きました。miRNAと心肥大、iPSと不整脈、機能性食品を用いた心不全治療等、若手気鋭の循環薬理研究者による大変興味深いご発表が予定されております。更に今回も、将来の循環薬理研究を担う若手人材の育成に少しでもお役に立てばとの願いから、優秀な発表2題に対して「Young Investigator's Award」(YIA)を授与する若手研究者の口頭発表セッションを設けました。

その結果、皆様のお蔭をもちまして、最終的な登録演題総数が45題に達しました。YIAの9題に加え、一般演題では、心臓、血管、内皮、腎等の幅広い範囲の循環関連各領域から31題もの登録がありました。また新たに循環薬理学会会員になられた若手の研究者の方々のご発表も数多く予定されております。一日と短い開催期間ですが、かならずや質の高い発表と活発な議論が行われることと確信いたしております。

本学会の開催にあたり、多方面からのご支援・ご協力をいただきました。この場を借りてあらためて御礼申し上げます。本学会が皆様にとって有意義でありますことを心から祈念いたしております。またついでながら、「食」と「アジアニシティ」の町である博多の魅力もどうぞこの際にご満喫ください。

お知らせとお願い

■参加者の皆様へ

1. 学会会場

A 会場：メディカルホール（病院隣）

B 会場：多目的室1（病院内 B1）

会場は病院内施設です。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

2. 受付（総合受付・PC 受付）

場 所：メディカルホール 1F ロビー

時 間：8:30am ～

※事前参加登録をされている方は、受付の必要はありません。

- ・会場内では、参加証は常にご着用願います。参加証の無い方のご入場は固くお断りします。
- ・当日参加を希望される方は参加費を納め、参加証と口演要旨集をお受け取り下さい。
- ・要旨集の購入を希望される方は、1冊1,000円にて販売します。

3. 学会（当日参加費）

会 員 5,000円

非 会 員 6,000円

大学院生 2,000円（学部学生無料） ※当日、受付で学生証をご呈示下さい。

4. 懇 親 会

福岡大学 文系センター 16F スカイラウンジ 18:00～20:00

※当日、懇親会に参加を希望される方は、総合受付にてお申し込み下さい。

懇親会参加費（当日）は次の通りです。

会員・非会員 6,000円

大学院生・学部学生 3,000円 ※当日、受付で学生証をご呈示下さい。

5. 休 憩

- ・メディカルホール 1F ロビーをご利用下さい（お飲み物をご用意しています）。
- ・医学部、病院地区はすべて禁煙です。ご理解とご協力をお願いします。

6. お 食 事

学内の食堂・コンビニエンスストアをご利用下さい。

7. クローク

クロークは設けておりません。予めご了承下さい。

8. 写真撮影ほか

- ・会場内での撮影や録音は固くお断りします。
（但し、スタッフが開催記録のため会場内の様子を撮影する場合があります。ご了承下さい。）
- ・携帯電話はマナーモードにいただき、会場内での通話をご遠慮下さい。

■発表者の皆様へ

1. 発表時間

- YIA 候補演題・一般演題：発表時間9分＋質疑応答時間3分＝「12分」です。
- 発表開始後、8分、9分、12分でベルが鳴ります。

2. 発表方法・受付

- PC プレゼンテーションによる口頭発表です。
- 『PC 持ち込み』あるいは『データの持ち込み』に対応します。
※万一に備え、発表用とは別にデータをご持参下さい。
- 発表用スライドの横縦比は「4：3」で作成して下さい。
- セッション開始30分前までに PC 受付で手続きを済ませ、外部映像出力の動作確認を必ず行って下さい。
- PC の操作は発表者ご自身（あるいは共同発表者）で行って下さい。
- 発表者（および PC 操作を行う方）は、10分前までに「次演者席」にご着席下さい。
- 発表終了時は、速やかに次演者と交代して下さい。

『PC 持ち込みの場合』

- 受付で出力動作確認を済ませた PC は起動させた状態で、会場内前方のスタッフにお渡し下さい（発表中でも構いません）。
- バッテリー切れに備え、AC 電源を必ずご持参下さい。
- 映像出力端子はアナログ接続「ミニ D-sub 15 pin」です。
HDMI のみの PC の場合は変換コンバーターを、Macintosh の方は専用の接続アダプターをご用意下さい。
- 持ち込まれたワイヤレスプレゼンター等の使用による不具合は一切責任を持ちません。
- スクリーンセーバーや省電力モード、起動時のパスワード設定は解除して下さい（設定が変更される場合があります）。
- 発表終了後、お預かりした PC をご返却しますのでスタッフにお申し出下さい（発表中でも構いません）。



ミニ D-sub15pin

『データ持ち込みの場合』

- 事務局で用意する PC の OS は Windows 7 で、ソフトは Microsoft PowerPoint 2010 です。
それ以外のソフトや動画をご使用の方は PC をご持参下さい。
- 発表用データは USB メモリあるいは CD-R でお持ち下さい。
※必ずウイルスチェックを済ませたものをご用意下さい。
※USB メモリの破損や CD-R 読み取り不可に備えて、スベアのデータを必ずご用意下さい。

■ YIA 候補者の皆様へ

YIA 受賞者の発表ならびに授賞式は、17:50 より A 会場で行います。候補者は全員ご参加下さい。

■ YIA 審査員の皆様へ

- セッション開始15分前までに総合受付へお越し下さい。審査用紙をお渡しします。
- YIA 候補者の演題発表が全て終了しましたら、審査用紙を総合受付へご提出下さい。

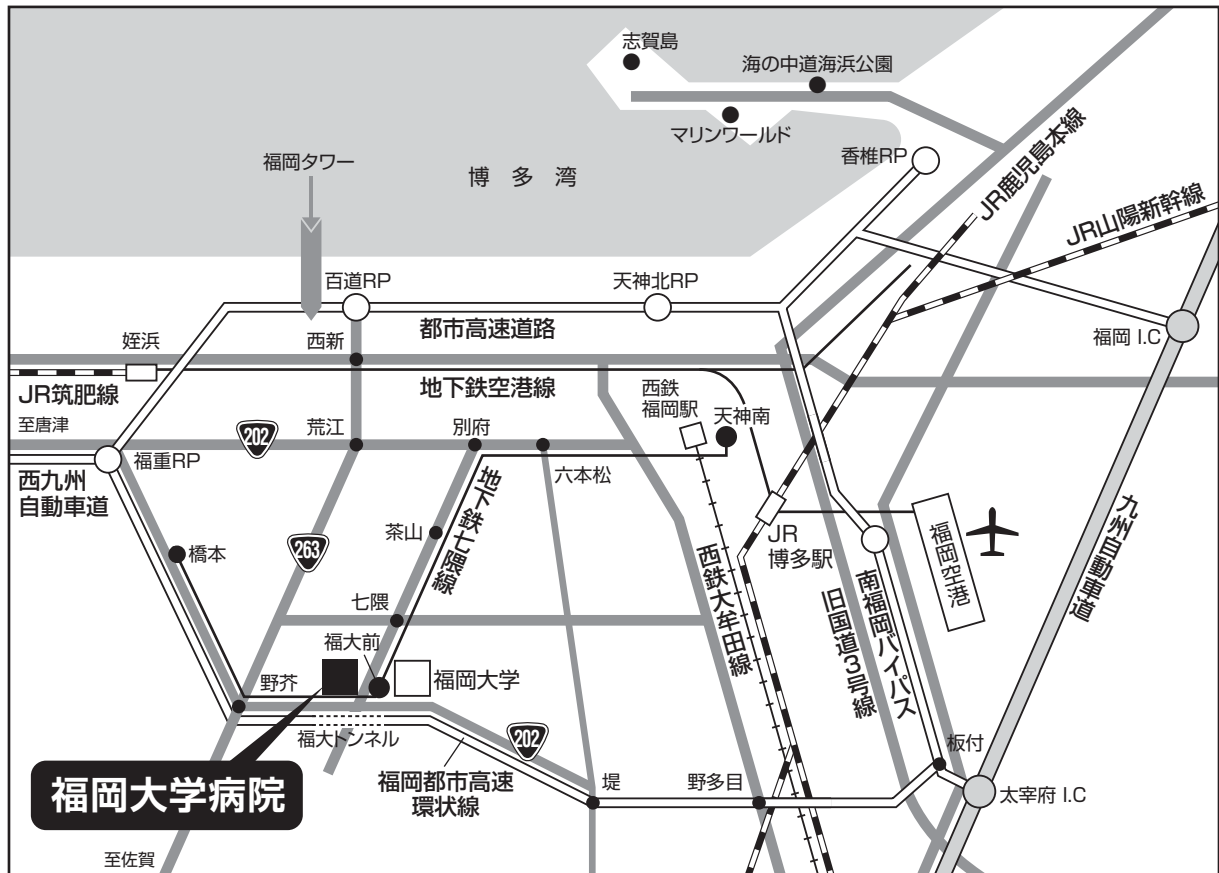
■ 座長の皆様へ

- セッション開始15分前までに、会場前方の「次座長席」にお着き下さい。
- 進行は座長の先生方にお任せ致しますので、活発な討論が行われますようご配慮下さい。
- 発表時間は口演発表9分・質疑応答3分です。プログラムの時間厳守をお願いします。
- タイムキーパーが発表開始後の時間経過をベルでお知らせします。
発表開始後、8分、9分、12分でベルが鳴ります。

■ 日本循環薬理学会幹事の皆様へ

総合受付で幹事会資料をお受け取り下さい。

交通アクセス



会場までのアクセス

- 地下鉄 …… 地下鉄七隈線「福大前駅」下車 ➡ 2番出口（福岡大学病院方面）より徒歩1分
- バス
 - 天神から（所要時間 約30分）
 - …… 「天神警固神社前三越前」から14番、114番のバスに乗り ➡ 「福大病院バス停」下車
 - …… 「天神協和ビル前[回]乗り場」あるいは「天神福ビル前[回]乗り場」から
福大病院経由の140番のバスに乗り ➡ 「福大病院バス停」下車
 - 博多駅から（所要時間 約40分）
 - …… 「博多駅前バス停[回]」あるいは「博多バスターミナル1階[回]」乗り場から
福大病院経由の114番のバスに乗り ➡ 「福大病院バス停」下車
- 福岡空港から
 - 地下鉄を利用：地下鉄空港線に乗り、「天神」で下車（約11分） ➡ 徒歩（約7分）
 - ➡ 地下鉄七隈線「天神南駅」より地下鉄に乗り、「福大前駅」下車（約16分）
 - ➡ 徒歩1分
 - バスを利用：JR「博多駅」まで歩く（約5分） ➡ 福大病院経由の114番のバスに乗り
➡ 「福大病院バス停」下車（約40分）
 - タクシーを利用：所要時間 約45分

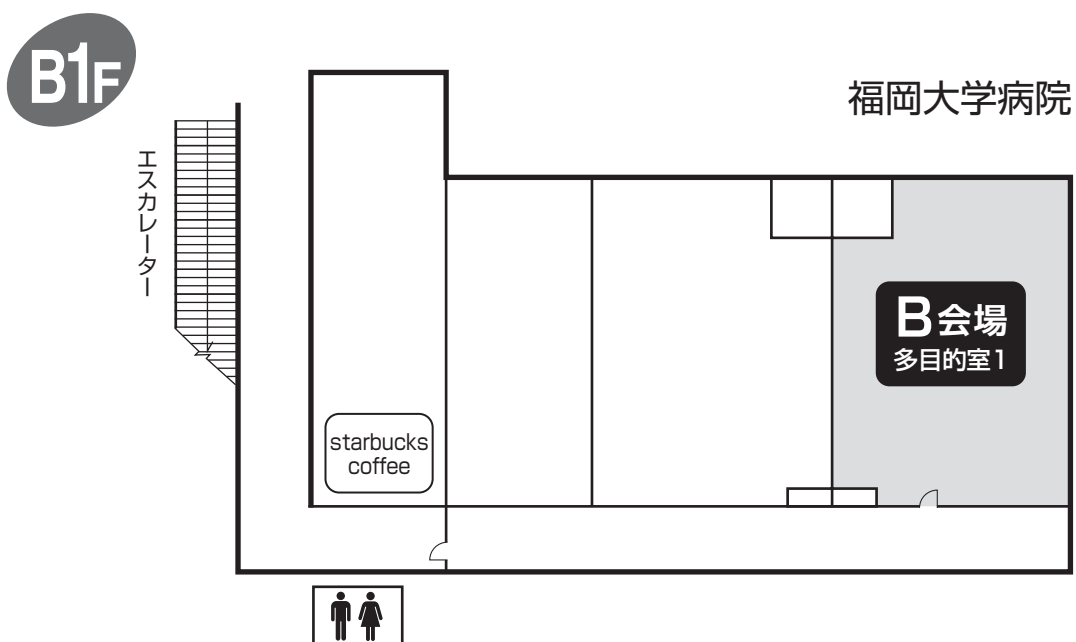
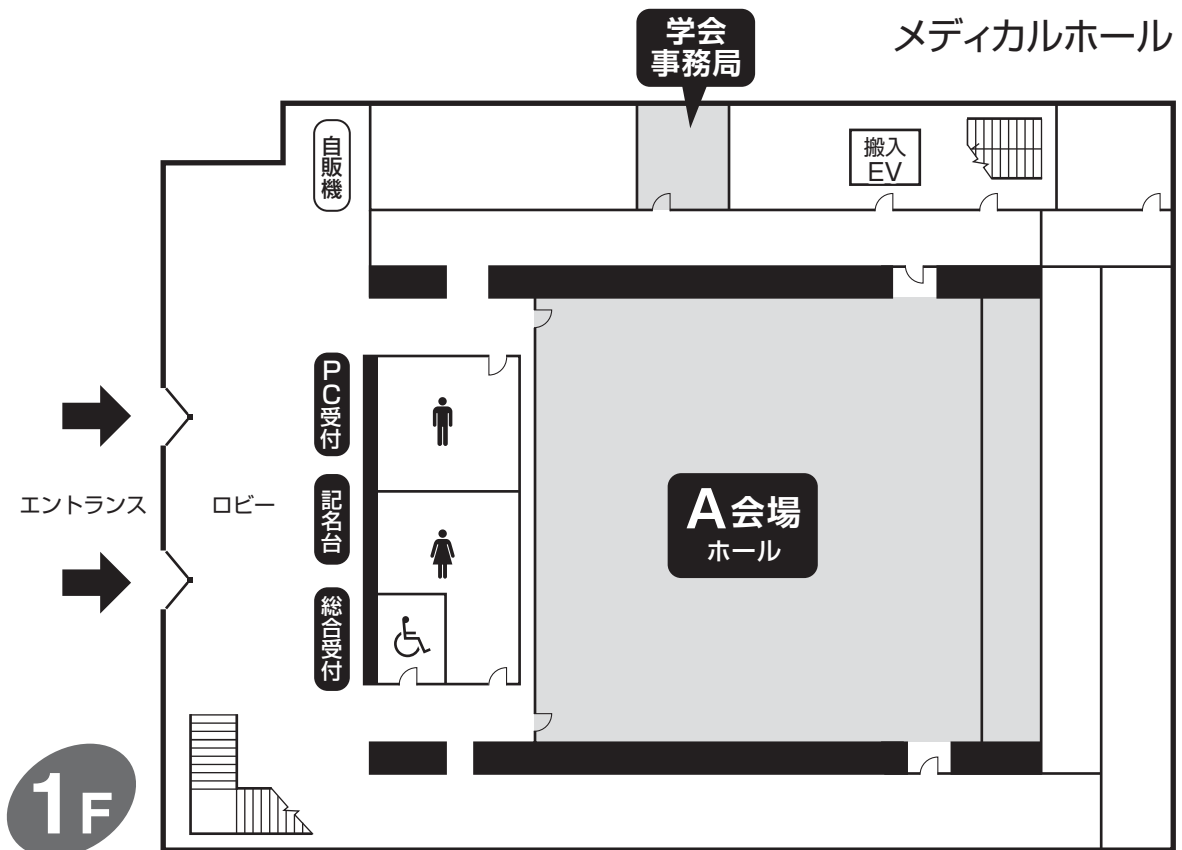
※会場専用の駐車場はありません。公共の交通機関をご利用下さい。

※会場は病院内施設で地下鉄と直結しています。連絡通路に設置された案内板表示に従い、会場にお進み下さい。

構内案内図



会場案内図



日 程 表

A 会場 メディカルホール		B 会場 多目的室
8:30	8:30～ 受付開始	
9:00	8:55～9:00 当番幹事開会挨拶	9:00～ 開 場
10:00	9:00～11:00 シンポジウム 次世代心不全治療の新機軸 座長：西田 基宏 (岡崎統合バイオサイエンスセンター生理学研究所) 黒川 洵子 (東京医科歯科大学)	9:30～10:18 一般演題 B01－B04 座長：中野 大介 (香川大学) 中田 徹男 (京都薬科大学)
11:00	11:10～12:10 一般演題 A01－A05 座長：山田 充彦 (信州大学) 村山 尚 (順天堂大学)	10:20～10:56 一般演題 B05－B07 座長：平野 勝也 (九州大学) 沢村 達也 (国立循環器病センター)
12:00	12:10～13:00 昼食休憩・日本循環薬理学会幹事会	11:10～12:10 一般演題 B08－B12 座長：玉置 俊晃 (徳島大学) 堀之内 孝広 (北海道大学)
13:00	13:00～13:48 一般演題 A06－A09 座長：石井 邦明 (山形大学) 今井 由美子 (秋田大学)	13:00～13:36 一般演題 B13－B15 座長：乾 誠 (山口大学) 岡村 富夫 (滋賀医科大学)
14:00	13:50～14:38 一般演題 A10－A13 座長：服部 裕一 (富山大学) 田中 利男 (三重大学)	13:40～14:16 一般演題 B16－B18 座長：岩本 隆宏 (福岡大学) 石川 智久 (静岡県立大学)
15:00	14:50～15:38 YIA 演題 YIA01－YIA04 座長：飯野 正光 (東京大学) 三輪 聡一 (北海道大学)	
16:00	15:45～16:45 YIA 演題 YIA05－YIA09 座長：吉栖 正典 (奈良県立医科大学) 今泉 祐治 (名古屋市立大学)	
17:00	16:50～17:50 特別講演 GSK-3と創薬 —がん、心不全、骨疾患の新規治療法を探る— 座長：井上 隆司 (福岡大学) 講師：笹栗 俊之 (九州大学大学院)	
18:00	17:50～18:15 YIA 優秀賞発表・授賞式、学会会長挨拶 次期当番幹事挨拶、当番幹事閉会挨拶	
19:00	18:30～20:30 懇 親 会 会場：スカイラウンジ (福岡大学文系センター 16F)	
20:00		

プログラム

8:55～9:00

第23回日本循環薬理学会 開会挨拶

当番幹事：井上 隆司

9:00～11:00

シンポジウム

A 会場 (メディカルホール)

座長：西田 基宏 (岡崎統合バイオサイエンスセンター生理学研究所)
黒川 洵子 (東京医科歯科大学)

〔次世代心不全治療の新機軸〕

S-01 miRNA と動脈硬化・心不全

○尾野 亘¹⁾、堀江 貴裕¹⁾、馬場 理¹⁾、桑原 康秀¹⁾、北 徹²⁾、木村 剛¹⁾

1) 京都大学大学院 医学研究科 循環器内科、2) 神戸市立医療センター 中央市民病院

S-02 iPS 心筋を用いた心機能評価

○黒川 洵子¹⁾、諫田 泰成²⁾、古川 哲史¹⁾

1) 東京医科歯科大学 難治疾患研究所、2) 国立医薬品食品衛生研究所 薬理部

S-03 アミロイドと心不全

○三部 篤

岩手医科大学 薬学部 薬剤治療学

S-04 含硫機能性食品を用いた心不全治療

○西田 基宏

岡崎統合バイオサイエンスセンター生理学研究所 心循環シグナル研究部門

S-05 死細胞の貪食と心筋梗塞

○仲矢 道雄

九州大学大学院 薬学研究院 薬効安全性学

9:30～10:18

一般演題

B 会場 (多目的室)

座長：中野 大介 (香川大学)
中田 徹男 (京都薬科大学)

B-01 ポドサイトにおけるアンジオテンシンⅡ誘導性細胞内カルシウム濃度調節における N 型カルシウムチャネルの関与

○西山 成、刘 雅、柴山 弓季、中野 大介

香川大学 薬理学講座

- B-02** 虚血プレコンディショニングによる腎保護効果における細胞周期調節因子 p21 の役割
○中野 大介¹⁾、西岡 聡²⁾、北田 研人¹⁾、祖父江 理²⁾、河野 雅和²⁾、西山 成¹⁾
1) 香川大学 薬理学講座、2) 同 循環器・腎臓・脳卒中内科
- B-03** DOCA-salt 高血圧モデルラットでは、血圧上昇と腎障害の悪化とともに脳、腎における TGF- β 発現に影響を及ぼす
○武末 篤太、大東 誠、鳥羽 裕恵、小原 幸、中田 徹男
京都薬科大学 病態薬科学系 臨床薬理学分野
- B-04** 全身性温熱治療の5/6腎摘除マウスに及ぼす尿蛋白抑制の可能性
○岩下 佳弘¹⁾²⁾、鮫島 隼人¹⁾、村上 賢治³⁾、岩下 美彩稀¹⁾、赤坂 雅子¹⁾、村上 龍也¹⁾、與座 嘉康¹⁾、亀山 広喜⁴⁾、伊東 祐之¹⁾、飯山 準一¹⁾
1) 熊本保健科学大学 リハビリテーション学科、2) 熊本大学大学院 生命科学研究部 腎臓内科学、3) 熊本保健科学大学大学院 リハビリテーション領域、4) 熊本保健科学大学 医学検査学科

10:20～10:56

一般演題

B 会場 (多目的室)

座長：平野 勝也 (九州大学)
沢村 達也 (国立循環器病センター)

- B-05** 血管平滑筋トロンビン受容体の脱感作障害における酸化ストレスと ERK の役割
○平野 勝也、平野 真弓
九州大学 医学研究院 分子細胞情報学
- B-06** 脳動脈平滑筋の低酸素刺激による P2X 受容体サブタイプの発現制御
○森田 浩光¹⁾、吉本 尚平¹⁾²⁾、今井 裕子¹⁾、平田 雅人²⁾、伊東 祐之³⁾
1) 九州大学病院 全身管理歯科、2) 九州大学大学院 歯学研究院 口腔細胞工学、3) 熊本保健科学大学 保健科学部
- B-07** 蛍光 Ca プローブを発現するトランスジェニックマウスを用いた脳血流制御機構の可視化解析
○関谷 敬¹⁾、北島 奈美¹⁾、佐藤 要¹⁾、田中 謙二²⁾、飯野 正光¹⁾
1) 東京大学大学院 医学系研究科 細胞分子薬理学教室、2) 慶應義塾大学 医学部 精神神経科学教室

11:10～12:10

一般演題

A 会場 (メディカルホール)

座長：山田 充彦 (信州大学)
村山 尚 (順天堂大学)

- A-01** 過分極誘発陽イオンチャネル (HCN2) の潜在的な催不整脈性
○大下 健輔¹⁾²⁾、伊藤 政之¹⁾、井形 幸代¹⁾、栞原 佳宏³⁾、桑原 宏一郎³⁾、牛島 一男²⁾、鷹野 誠¹⁾
1) 久留米大学 生理学講座 統合自律機能部門、2) 同 麻酔学講座、3) 京都大学大学院 医学研究科 循環器内科

- A-02** ベプリジルの Kir2.1 チャンネルおよび hERG チャンネルに対する長期作用
○高成 広起¹⁾²⁾、Marien Houtman²⁾、Rosanne Varkevisser²⁾、Marc Vos²⁾、
Marcel van der Heyden²⁾、小野 克重¹⁾
1) 大分大学 医学部 病態生理学講座、
2) Department of Medical Physiology, University Medical Center Utrecht

- A-03** 心筋型リアノジン受容体 (RyR2) の CICR 活性に対する疾患変異の効果
○村山 尚¹⁾、呉林 なごみ¹⁾、鈴木 純二²⁾、金丸 和典²⁾、飯野 正光²⁾、櫻井 隆¹⁾
1) 順天堂大・医・薬理、2) 東京大院・細胞分子薬理

- A-04** 心リモデリング時に発現増加する TRPM4 チャンネルの催不整脈性の定量的検討
○胡 耀鵬、段 玉斌、倉原 琳、市川 純、井上 隆司
福岡大学 医学部 生理学

- A-05** Electrical storm に伴う心機能障害のメカニズム：
頻発する VF エピソードを有する実験モデル動物での検討
○辻 幸臣、蒔田 直昌
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 分子生理学

11:10~12:10

一般演題

B 会場 (多目的室)

座長：玉置 俊晃 (徳島大学)
堀之内 孝広 (北海道大学)

- B-08** 薬剤誘導性大動脈瘤モデルにおける
平滑筋由来 hypoxia-inducible factor-1 α の役割
○今西 正樹¹⁾、富田 修平²⁾、黒部 裕嗣³⁾、石澤 啓介⁴⁾、木平 孝高¹⁾、
池田 康将¹⁾、山野 範子¹⁾、石澤 有紀¹⁾、土屋 浩一郎⁴⁾、玉置 俊晃¹⁾
1) 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 薬理学、2) 鳥取大学 医学部 分子薬理学、
3) 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 心臓血管外科学、4) 同 医薬品機能生化学

- B-09** エンドセリン -1 によるインスリン -Akt シグナル伝達の抑制性制御における
G タンパク質共役型受容体キナーゼ 2 の関与
○堀之内 孝広、原田 拓弥、星 暁壮、東 恒仁、寺田 晃士、比嘉 綱己、
眞井 洋輔、Nepal Prabha、堀口 美香、旗手 千鶴、三輪 聡一
北海道大学大学院 医学研究科 細胞薬理学分野

- B-10** エンドセリン A・B 型受容体の細胞内トラフィッキング制御における
ユビキチン化修飾の役割
○寺田 晃士
北海道大学大学院 医学研究科 細胞薬理学分野

- B-11** アディポサイトカイン chemerin は血管平滑筋細胞の増殖及び遊走を促進する
○國本 秀瑞垂、高井 瑞穂、岡田 宗善、山脇 英之
北里大学 獣医薬理学研究室

B-12 生体内 HDL 自己形成型 iCE ペプチドのブランク退縮作用とそのメカニズムの検討

○上原 吉就¹⁾、八尋 英二¹⁾、阿部 智美¹⁾、川内 絵未¹⁾、清水 知彦¹⁾、今泉 聡¹⁾、
安東 勢津子²⁾、三浦 伸一郎¹⁾、朔 啓二郎¹⁾

1) 福岡大学 医学部 心臓・血管内科学、2) 同 理学部 化学科

12:10～13:00 昼食休憩・日本循環薬理学会幹事会

13:00～13:48 一般演題

A 会場 (メディカルホール)

座長：石井 邦明 (山形大学)
今井 由美子 (秋田大学)

A-06 α_1 アドレナリン受容体刺激による KCNQ1 インターナリゼーション機構の解明

○倉上 和也、野呂田 郁夫、呉 明華、永澤 悦伸、小原 祐太郎、石井 邦明

山形大学 医学部 薬理学講座

A-07 ジアシルグリセロールキナーゼの心機能調節における役割

○植木 桂一郎、齊藤 真也、石川 智久

静岡県立大学 薬学部 薬理学講座

A-08 ACE2 を介した Apelin 系とアンジオテンシン系の相互作用

○久場 敬司¹⁾、佐藤 輝紀¹⁾²⁾、鈴木 享¹⁾、門脇 歩美¹⁾、木村 彰方³⁾、
伊藤 宏²⁾、今井 由美子¹⁾

1) 秋田大学大学院 医学系研究科 情報制御学・実験治療学講座、

2) 同 循環器内科学・呼吸器内科学講座、3) 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子病態分野

A-09 心筋トロポニン T 突然変異による遺伝性拡張型心筋症モデルマウスに対するピモベンダンの治療効果

○野中 美希、森本 幸生、早水 憲吾、笹栗 俊之

九州大学大学院 医学研究院 臨床薬理学分野

13:00～13:36 一般演題

B 会場 (多目的室)

座長：乾 誠 (山口大学)
岡村 富夫 (滋賀医科大学)

B-13 NO-sGC-cGMP 経路を介する血管弛緩反応に及ぼすスーパーオキシドの影響

○田和 正志、下里 貴、岩崎 広高、今村 武史、岡村 富夫

滋賀医科大学 薬理学講座

B-14 SEK-1005による血管内皮細胞の遊走及び管腔形成促進効果

○酒井 大樹¹⁾、中島 京¹⁾、岩田 博夫²⁾、乾 誠¹⁾

1) 山口大学大学院 医学系研究科 分子薬理学、2) 京都大学 再生医学研究所 組織修復材料学分野

B-15 新規アポ蛋白 A-I 模倣ペプチド(FAMP)の多面的効果

—抗炎症・内皮管腔形成作用

○末松 保憲、三浦 伸一郎、松尾 佳野、清水 知彦、高田 耕平、今泉 聡、
八尋 英二、上原 吉就、朔 啓二郎

福岡大学 心臓・血管内科学講座

13:40～14:16

一般演題

B会場(多目的室)

座長：岩本 隆宏(福岡大学)
石川 智久(静岡県立大学)

B-16 末梢循環障害における TRPC6の役割

○富田 拓郎¹⁾、角田 将朗¹⁾、島内 司¹⁾、喜多 紗斗美³⁾、岩本 隆宏³⁾、
西田 基宏²⁾

1) 九州大学大学院 薬学研究院 創薬育薬産学官連携分野、
2) 岡崎統合バイオサイエンスセンター生理学研究所 心循環シグナル研究部門、
3) 福岡大学 医学部 薬理学教室

B-17 $\alpha 1$ アドレナリン受容体を介した冷却による皮膚血管収縮応答性増強 メカニズムの解析

○石田 裕丈、菱沼 瑛多、北川 智章、斉藤 真也、石川 智久

静岡県立大学 薬学部 薬理学教室

B-18 ALDH2 遺伝子多型がニトログリセリンの単回および 長期投与効果に及ぼす影響

○吉原 達也¹⁾、白石 富美恵¹⁾、有馬 久富²⁾、高橋 富美³⁾、池松 秀之⁴⁾、
笹栗 俊之¹⁾

1) 九州大学大学院 医学研究院 臨床薬理学分野、2) The George Institute、
3) 九州大学大学院 医学研究院 医学教育学部門、
4) 九州大学先端医療イノベーションセンター臨床試験部門

13:50～14:38

一般演題

A会場(メディカルホール)

座長：服部 裕一(富山大学)
田中 利男(三重大学)

A-10 心筋梗塞時における BLT1 の役割解明

○西原 弘朗、仲矢 道雄、渡 健治、黒瀬 等

九州大学大学院 薬学府 薬効安全性学

A-11 敗血症性心機能不全における MMP-9 を介した心臓線維芽細胞の役割：ONO-4847 の効果

○坂田 公正¹⁾²⁾、今泉 貴博¹⁾、高階 道德¹⁾、富田 賢吾¹⁾、芳村 直樹²⁾、服部 裕一¹⁾

1) 富山大学大学院医学薬学研究部 分子医科薬理学講座、2) 同 呼吸循環総合外科学

A-12 実験に有用な自然発症急性心筋梗塞モデルの開発

○筒井 正人¹⁾、内田 太郎¹⁾、古野 由美²⁾、谷本 昭英³⁾、豊平 由美子⁴⁾、喜名 美香¹⁾、久保田 陽秋¹⁾、坂梨 まゆ子¹⁾、松崎 俊博¹⁾、野口 克彦¹⁾、仲宗根 淳子¹⁾、下川 宏明⁵⁾、柳原 延章⁴⁾、田村 雅仁²⁾、尾辻 豊²⁾

1) 琉球大学大学院 医学研究科 薬理学、2) 産業医科大学 医学部 第二内科学、3) 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 病理学、4) 産業医科大学 医学部 薬理学、5) 東北大学大学院 医学系研究科 循環器内科学

A-13 僧帽弁閉鎖不全症モデルゼブラフィッシュを用いた新規心不全治療標的遺伝子 ECI2 の発見

○島田 康人¹⁾²⁾³⁾⁴⁾⁵⁾、臧 黎清¹⁾、有吉 美稚子¹⁾、梅本 紀子¹⁾²⁾、西村 有平¹⁾²⁾³⁾⁴⁾⁵⁾

1) 三重大学大学院 医学系研究科 薬理ゲノミクス分野、2) 同 システムズ薬理学分野、3) 三重大学 メディカルゼブラフィッシュ研究センター、4) 同 生命科学研究支援センター バイオインフォマティクス部門、5) 同 新産業創成拠点オミックス医学研究室

14:50～15:38

YIA 演題

A 会場 (メディカルホール)

座長：飯野 正光 (東京大学)
三輪 聡一 (北海道大学)

YIA-01 心筋梗塞後の心不全に対する DPP-4 阻害薬の作用機序の解明

○久保田 暁彦¹⁾、高野 博之²⁾、長谷川 洋¹⁾、小原 由香¹⁾、王 海秀²⁾、長嶺 亜香利²⁾、小野 綾子²⁾、廣瀬 雅教¹⁾、稲川 知子²⁾、田所 裕之³⁾、小林 欣夫¹⁾

1) 千葉大学大学院 医学研究院 循環器内科学、2) 同 薬学研究院 分子心血管薬理学、3) 東海大学 開発工学部 医用生体工学科

YIA-02 心筋小胞体 sigma-1 受容体によるリアノジン受容体の機能調節

○田頭 秀章、福永 浩司

東北大学大学院 薬学研究科 薬理学分野

YIA-03 カゼインキナーゼ 2 による心筋 Ca_v1.2L 型 Ca²⁺ チャネルの基礎活性制御の分子機構の解析

○柏原 俊英、中田 勉、山田 充彦

信州大学 医学部 分子薬理学講座

YIA-04 The role of RGS4 in partial agonism of the m2 muscarinic receptor-activated K⁺ currents

○陳 以珊、古谷 和春、稲野辺 厚、倉智 嘉久

大阪大学大学院 医学系研究科 分子・細胞薬理学

15:45～16:45

YIA 演題

A 会場 (メディカルホール)

座長：吉栖 正典 (奈良県立医科大学)

今泉 祐治 (名古屋市立大学)

YIA-05 Prostaglandin E₂ による血管透過性制御機構の解明

○大森 啓介¹⁾、貴田 大樹¹⁾、堀 正敏¹⁾、尾崎 博¹⁾、村田 幸久¹⁾²⁾

1) 東京大学大学院 農学生命科学研究科 獣医薬理学教室、2) 同 放射線動物科学研究室

YIA-06 脳血管内皮細胞における Ca²⁺ release-activated Ca²⁺ channel を介した細胞周期制御機構の解明

○鬼頭 宏彰¹⁾、山村 寿男¹⁾、鈴木 良明¹⁾、大矢 進¹⁾²⁾、浅井 清文³⁾、今泉 祐治¹⁾

1) 名古屋市立大学大学院 薬学研究科 細胞分子薬効解析学、2) 京都薬科大学 薬理学、3) 名古屋市立大学大学院 医学研究科 分子神経生物

YIA-07 酸化 LDL 阻害分子 Del-1 の過剰発現は、マウス血管壁脂質沈着を抑制する

○垣野 明美、中野 厚史、藤田 佳子、沢村 達也

国立循環器病研究センター 研究所血管生理学部

YIA-08 プロスタグランジン I₂ 受容体アゴニストの連用に伴う血小板機能抑制作用の減弱はトロンボキサン A₂ 合成酵素阻害薬の併用により回避できる

○柏木 仁¹⁾、結城 幸一¹⁾、小島 史章¹⁾、糸井 志麻¹⁾、酒井 芳紀²⁾、成宮 周³⁾、牛首 文隆¹⁾

1) 旭川医科大学 医学部 薬理学講座、2) 小野薬品工業株式会社 研究本部、3) 京都大学大学院 医学研究科 神経細胞薬理学教室

YIA-09 トランスニトロシル化反応を介した TRPA1 チャネル選択的な活性化

○香西 大輔¹⁾、樺澤 洋治²⁾、Maximilian Ebert¹⁾、清中 茂樹¹⁾³⁾、Firman²⁾、尾谷 優子²⁾、沼田 朋大¹⁾³⁾、高橋 重成¹⁾、森 泰生¹⁾³⁾、大和田 智彦²⁾

1) 京都大学大学院 工学研究科、2) 東京大学大学院 薬学研究科、3) 京都大学大学院 地球環境学堂

〔 GSK-3と創薬 ―がん、心不全、骨疾患の新規治療法を探る― 〕

笹栗 俊之(九州大学大学院 医学研究院 臨床薬理学分野)

① YIA 優秀賞発表・授賞式

② 日本循環薬理学会 会長挨拶

会 長：岡村 富夫(滋賀医科大学 薬理学講座)

③ 第24回日本循環薬理学会 当番幹事挨拶

当番幹事：石井 邦明(山形大学 医学部 薬理学講座)

④ 第23回日本循環薬理学会 閉会挨拶

当番幹事：井上 隆司